



美濃加茂 24景

問みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム ☎28-1110

13 風景に溶けこんでいる 「お地藏さん」

人々の篤い信仰を物語る地藏（石造）は、市内で少なくとも百五十基以上が確認され、多くは江戸時代の後半に建てられています。その目的や場所はさまざまですが、三和地区の場合、間見峠や鯉下峠など、かつての村境にあたる六カ所に建立されているのが特徴です。「荒ぶる神」が住む場所として恐れられ、交通の難所でもあった峠に人々は地藏をまつり、道中と村中の安全を祈ったのです。

三和町川浦地区と川辺町を結ぶ道の峠、まさに「地藏峠」にも、ひっそり佇む地藏があります。この石仏が建立されたのは、刻まれた銘文から、正徳元年9月（1711）であることが分かります。市域の地藏としては比較的古いものです。

現代は車で何の苦労もなくあつという間に通り過ぎてしまう峠の風景ですが、険しい道中にちよつと一息入れ、かたわらのお地藏さんに手を合わせる、かつての人々のそんな光景が目に見えられます。